

..... 編集後記

◆ 10月となり、ようやく夏が終わったことが実感できるようにになりました。9月になっても猛暑が続き、楕円の長径に夏と冬があるとすれば、今年の夏は逆三角に広がった楕円のように、暑い夏が続きました。記録を塗り替えるような暑い日の連続でしたが、読者の皆様方は、体調の維持ができましたでしょうか。今月号は、今年1月号で特集した「貯留層変動探査法の目指したこと」の続編の特集記事4編と一般記事5編による構成となっております。記事をお読みになって、涼しくなった秋の夜長をお楽しみ下さい。

◆ 一連の特集は、当該分野の研究開発を長年リードしてこられた石戸氏の産総研退職を機に、昨年開催されたミニシンポジウムの総括として計画され、今月号は前号の特集に収まりきれない記事が掲載されています。はじめに、石戸氏は断裂系の水理特性把握と貯留層モニタリングに係わるトピックスを紹介して下さいました。最新の情報や解釈の提案・注意点などの指摘は、多くの経験と知識に裏付けされた著者ならではの記事ではないでしょうか。

◆ 地熱の利用においては自然が対象ですから、地熱構造や熱水系の特質などはまちまちですし、利用に伴い貯留層の変動が生じるものですから、思い通りにならないことや予想外の障害は不可避です。中西氏は、鬼首地熱発電所の運転における貯留層管理の現状と課題を、詳細に紹介して下さいました。

◆ 流体の検出にすぐれた物理探査手法である自然電位を計測する方法は、数値シミュレーション等の方法も利用されるようになって、定量的な自然電位解釈がなされるようになってきました。こうした中、長谷氏は自然電位と岩石の地下水界面におけるゼータ電位

との関係を分かり易く解説し、その解釈における岩石ゼータ電位の重要性を紹介しています。

◆ 本特集の最後も熱水に係わる自然電位の話題で、松島氏は熱水流動に伴う自然電位の時間変化の研究例を紹介して下さいました。野外実験調査と室内高圧実験の研究結果などは、興味深い記事です。

◆ 地質調査の際には、位置情報は不可欠です。この位置を測定する技術として、迅速・簡便・高精度の計測技術として近年利用が高まっているのが、GPS-VRS-RTK方式です。渡辺・七山両氏は、これを解説し、それを利用した実測例を紹介して下さいました。

◆ 地質系の学生でも、フィールドでの地質調査の実習や訓練をあまり受けていない傾向にあることが、以前から指摘されており、徳橋氏はこれまでも本誌に調査ノートの取り方や調査の方法について解説してきて下さいました。今回は、2007年から始まった地質調査研修の講師をされてきた経験から、その概要紹介と3年間実施して見えてきた課題と展望を紹介して下さいました。担当者の期待と様々なご苦勞・ご努力が記事からにじみ出てきます。

◆ シリーズとなった須藤氏による「砂と砂浜の地域誌」は、今回は福島県の中央部で、海蝕崖が印象的な海岸を紙面と共に訪問してみましょう。また、地質標本から俳句とは意外な発想ですが、その実践例を玉生氏ほかを紹介して下さいました。どのような作品か、ご覧下さい。最後は、斎藤氏ほかによる地質図を用いた商品開発の話題です。

◆ 本号のお知らせにもありますように、当編集委員会への活動は今年度限りとなります。編集における皆様方のご協力に深く感謝申し上げます。（金井 豊）

地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

事務局委員：宮内 涉

委員：重松紀生・杉原光彦・中嶋 健・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第674号	2010年	10月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
	2010年10月1日 発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

©2010 Geological Survey of Japan